

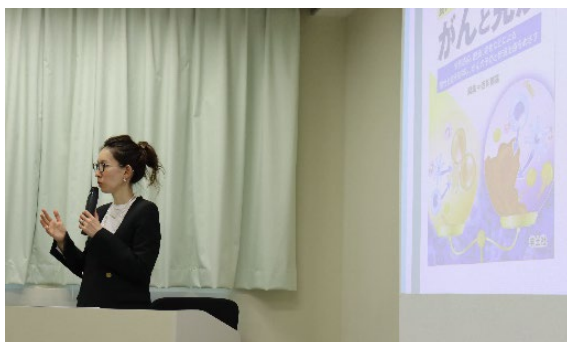
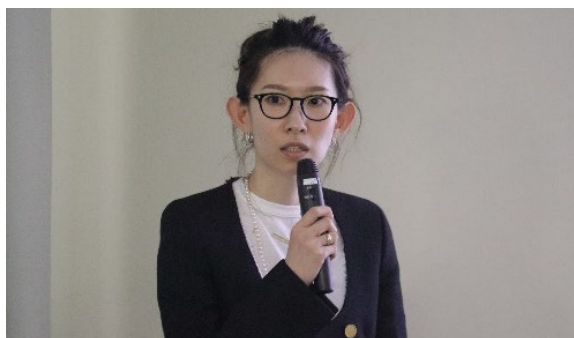
「がん進展制御研究所セミナー」を開催

2024年5月17日

5月17日（金）、金沢大学がん進展制御研究所4F会議室において、国立がん研究センター研究所 腫瘍免疫研究分野 前田 優香 先生による、がん進展制御研究所セミナーを開催しました。

セミナーでは、がん免疫に関する歴史的な背景から、制御性T細胞（Treg）の腫瘍組織での分化や発がんにおける役割、そして、Tregの制御による、がん治療の可能性について、これまでに報告された内容から、最新の結果まで含めてわかりやすく講演していただきました。また、ご自身でスタートした、国立がんセンター発ベンチャーについてもご紹介くださり、研究者の様々なキャリアパスについても、興味深く講演して頂きました。

セミナーには、研究所内外の教職員、大学院生等約30名が参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われました。



制御性T細胞を標的とした がん免疫療法の可能性

講演者：国立がん研究センター研究所
腫瘍免疫研究分野
前田 優香 先生

日時：2024年5月17日(金) 17:00～18:00

場所：金沢大学がん進展制御研究所 4F 会議室

前田先生は制御性T細胞（Treg）の制御機構を中心に、がん免疫の基礎研究から臨床応用まで幅広く研究を展開されています。この度、Tregを標的としたがん免疫療法の可能性について、セミナーして頂くことになりました。

Treg細胞は、免疫恒常性の維持に重要だが、がん免疫では抗腫瘍免疫応答を抑制して発がんに関わっていることが知られています。がん組織に多数存在する活性化Treg細胞はケモカイン受容体CCR4が高発現しているため、抗CCR4抗体であるMogamulizumabの投与により活性化Treg細胞の除去と臨床効果が期待されたが、多くの患者で治療効果は認められませんでした。前田先生はCCR4の発現レベルに着目し、Mogamulizumabの投与量を調節することで、Tregの選択的除去が可能であることを示しました。

皆さま、どうぞ奮ってご参加ください。